

聖餐式の言葉から 6

わたしたちは信じます <ニケヤ信経>

聖書の朗読と説教の後、わたしたちは**ニケヤ信経**を唱えます。これは、み言葉（神のわたしたちに対する語りかけ）に対する、わたしたちの側からの応答です。

ニケヤ信経（信条）は、使徒信経とともに、神への信仰告白が結晶したものです。これはキリスト教の信仰内容のエッセンスであって、キリスト教は何を信じているのかと言えば、まさにこの信経の内容です。

「ニケヤ」は地名です（現在のトルコ北西部）。この信経は4世紀のニケヤ公会議で定められ、その後の修正を経て5世紀に現在の形になったとされます。

「わたしたちは～～を信じます」が全体を包みます。わたしたちは信仰によって生きるのですが、より正確に言えば、わたしたちに信仰を与えてくださる方（神）によって生かされて生きるのです。「～を」＝信仰の対象（神）が大切です。

信経には**三つの項目**が含まれます。

第1項は「父なる神」、造り主です。

第2項は「子なる神」イエス・キリスト、救い主です。

第3項は「聖霊なる神」、命の与え主です。

信経によってわたしたちは、「父と子と聖霊なる三位一体の神」への信仰を告白します。

わたしたちは礼拝でこの信経を唱えるとき、誰に対して信仰を告白するのでしょうか。それは**神に対して**です。そしてさらに自分に対して、また世界に向かって告白します。

ニケヤ信経は、全世界の主要な教会に受け入れられています。これを唱えて神を賛美することをとおして、わたしたちは全世界の教会とつながるのです。

わたしたちがこれを声と心を合わせて唱えるとき、信仰の一体感が生まれます。

ニケヤ信経の1句1句に、神の愛と救いの働きが表現されています。これを丁寧に心をこめて唱えるとき、わたしたちの信仰は新しくされます。

司祭 ヨハネ 井田 泉